

●とびつくす●

## 「建築士の日」の取り組み

広報・渉外委員会 副委員長 喜島 政行

### 1 建築士の日

毎年「7月1日」は「建築士の日」と定められています。これは「建築士法」が昭和25年7月1日に施行されたことを記念して定められたものです。その目的は、「建築士制度を社会に広くPRし、われわれ自身も改めて建築士の意識を再確認する」というものです。

### 2 「建築士の日」への取り組み方針

私たち建築士には、厳しい試験に合格し、その後も研鑽を積んできたという誇りがあります。その特別な存在である「建築士」だけが参加できる「建築士会」を中心に、建築士の役割や能力を積極的に発信しようではありませんか。そのことによって、建築士一人ひとりが輝き、建築士会が輝くこととなります。

そこで本県では、「建築士の日」を機会にイベントを実施し、「建築士制度を社会に広くPRし、われわれ自身も改めて建築士の意識を再確認」したいと考えています。

このため、次のような事業を行うこととしています。

(1) 毎年7月1日には、「あなたのまちの建築士」と書いた黄色いポスターを、それぞれの会員が自宅や事務所に掲げて、地域の身近なところに建築士が住んでいることをアピールする。

(2) 2年毎にイベントを実施する。

### 3 過去のイベント

平成27年度は、7月18日に「建築の古今、そして未来」と題して、BIMセミナー、大工技術の紹介などのイベントを実施しました。

また平成29年度には、7月1、2日に、あすたむらんど徳島四季彩館で次のイベントを行いました。



### ●研究会パネル展

研究成果や活動内容のパネル展示をし、多くの来場者に見てもらいました。木匠会のカンナ体験は一般の方にも楽しんでもらえました。

### ●研究会セミナー

阿波のまちなみ研究会、木造建築研究会などからのプレゼンテーションを行いました。

### ●親子でお菓子の家づくり

子供たちの自由な発想から生まれる形の家は、私たちも刺激を受けました。

### ●「大工セミナー」阿波木匠会

大工の仕事や伝統工法について、実物の継ぎ手や道具を紹介し、大工の魅力を語ってもらいました。

### ●建築セミナー

建築士を目指し建築を学んでいる人に向けて、設計・施工・行政で活躍している会員の仕事を紹介しました。

### ●BIMセミナー

BIMを使った木造住宅設計の紹介などを行いました。

### 4 本年度の事業

(1) イベント「徳島の近代建築を見よう！」

実施日 6月30日(日)

会場は、西山卯三設計のあわぎんホールをメイン会場として、ほかに増田友也の建築を紹介する「なると会場」を設け、それぞれのエリアで近代建築の見学会を催す予定です。

各エリアの見学会終了後、とくしま会場に移動して、記念講演会を行います。講師は倉方俊輔氏の予定です。

※詳しくは折り込みのチラシをご覧ください。

この機会にお近くの近代建築の見学会に御参加ください。特に、最近会員になられた方々には是非参加してもらいたいと考えておりますので、各地域会の役員の皆様には、声掛け等の御協力をよろしくお願いいたします。

(2) ポスターの掲示

昨年度と同様に、「あなたのまちの建築士」のポスターを自宅や事務所に掲示してもらえよう「阿波まちなかど6月号」に挟み込む予定です。



## 片づけ

徳島地域会 高源 真由美

3月27日(水)男女参画委員会主催の春のセミナーとして、住まい方アドバイザーの近藤典子さんをお迎えし、「片づくり家のつくり方」と題してパークウエストンホテルにて、講演会・交流会を開催させていただきました。講演会は、一般の方、建築関係者の方々を含め、約180名にご参加いただきました。交流会は、約60名の方にご参加いただき、ケーキbuffet付きアフタヌーンティーパーティーで近藤典子さんにもご同席いただきまして交流を深めていただきました。

(ここに至るまでの、詳細な経緯は『近藤典子 Home&Life 研究所』のFBをご覧ください。笑)

私は、建築士会には、20数年前に入会したきり、所属はしてるけど講習会だけ受ける程度…でほぼ幽霊会員でしたが、昨年より男女参画委員会にご縁をいただいたおかげさまで今回は主催者側での参加となりました。



私が、近藤典子さんがご指導されている「住まい方アドバイザー養成講座」の講座修了生であったのもご縁のひとつの理由でした。講座に通ってる時は、建築士会で活動するとは思ってもみなかったし、個人的に先生の理論を学ぶのが楽しくて、自分も含めて住まう方のお役に立てるように…との思いだけで通っていました。

今回はこのような形でのイベント開催のお話を聞いた時に、皆さんにも先生のパワーを感じてもらえる！うれしい～！！と、素直に思いました。

ご参加くださいました皆さまからは「近藤先生は、パワフルでした！楽しい時間でした！！」の声が圧倒的に



多くてとてもご好評いただきました。

一般の方でも、建築関係者の方でも「住まう」ことは共通。

いかに心地

よく住まうか…

私の中ではとても深いテーマです。

交流会ではみなさまの前で養成講座修了生としてお話



させていただきましたのですが、ホントの私は、(そうは見えないとは思いますが)前に出るのがとても苦手だし、目立

ちたくないんです。

でもですね…、最近お役目として前に出ることがよく回ってきますのでそこは、ハイ！なのかな…^^;と思いきりゴジカルでも告知に出てみたり、前でお話させていただいたりやるからには楽しんで♡と思いつつ挑戦させていただきました。

今回のイベントがたくさんの方に知っていただけたことで誰かの何かのキッカケになればいいなあ…と思います。

そして一人でも多くの方が建築士会に興味を持ってくださり、栗飯原さんのようなゆるい感じでも建築士会に参加していいんだ。と思ってくださったら幸いです。

ご協力いただきました建築士会のスタッフの方の連携プレーぶり、お世話になったホテルの方々のご配慮、近藤事務所さまのご厚意、年度末のお忙しい時間をさいて足をお運びくださいましたご参加者のみなさま、いいお天気にしてくださったお天道様、すべての方々、物、時間に感謝いたします。

本当にありがとうございました。



## J I A 建築市民講座に参加して

徳島大学 建築サークル 片山 貴裕

徳島に来てちょうど1年が経とうとする2月の頭に JIA の建築市民講座があった。「ぼくらの履歴書」と題して現在早稲田大学芸術学校の准教授を務められている建築家の保坂猛さん、稲垣淳哉さんがゲストで徳島に来られた。今回の講座は主にお二方が学生時代に何を考えていたのか、そしてその考えをどのように最近の仕事に生かしたのかという内容であった。今回は、紙面スペースの関係で保坂さんの講座で印象に残った2つ作品について報告する。

保坂さんは、学生の頃に月の家を設計課題で描いた。それは当時横浜国立大学で教鞭を取っていた坂茂氏の提出課題であった。そこでは建築家と学生という体制が取られていたため、学生は常に本気で体当たりする仕組みができていた。保坂さんはこの時のことを理想の形だったと振り返る。

1つめの作品は「LOVE HOUSE」。この建築の1番の特徴的なデザインである屋根のカーブは限られた狭い対象地の敷地を見た後、約3時間でスケッチを仕上げた。学生時代にローマのパンテオンで見た9mにも及ぶトップライトを思い出し、そのままの尺度でこの敷地に落とし込んだ。この考え方は大きいデザインを小さいものに詰め込むという概念である。また、もう一つのコンセプトとしては、キリストの旧約聖書に隠されている。創世記に書かれた Basic elements of the Earth を保坂さんは「自然の基本要素」として捉え、これらの要素の中で「海」だけが敷地内にないということに気づいた。対象地が現代社会の喧騒の中で一見周囲を取り巻く環境が荒れているように見えても、そこには必ず基本要素があることを再認識する。このことは他の土地であっても同様のことである。これらの認識に至ることができたのは保坂さんのまっすぐな姿勢の表れのように見える。丁寧にものを見て、その本質を見極める。これはモノのデザインをするにあたって、デザインの本質を捉える上でもっとも大切なことだと僕は実感した。僕が保坂さんの設計を見て実感した「丁寧さ」は採光にも表れている。一般的に住宅の設計に際して、日照権等を考慮して以下に室内に安定した光を届けるかを考える。しかし、保坂さんは「夜の光」にも着目していた。そう「月光」だ。この住宅の1番の特徴の屋根のカーブからこぼれ落ちる月光はまさに「丁寧な設計の表れ」だった。保坂さんが「LOVE HOUSE」を設計した当時はまだ3Dシミュレーターが

今ほど高い技術でなかったのもあり、保坂さんは細かに一日を通してどのように光が住宅の中に差し込むのかを手でスケッチして調整されていた。このデザインが生み出した柔らかく優しく、それでいてどこか凜とした月光を生かすべく、室内には月光よりも弱いロウソクを証明に用いた。燭台にロウソクの灯がとまり月光がさす中で保坂さんはスケッチを行う。

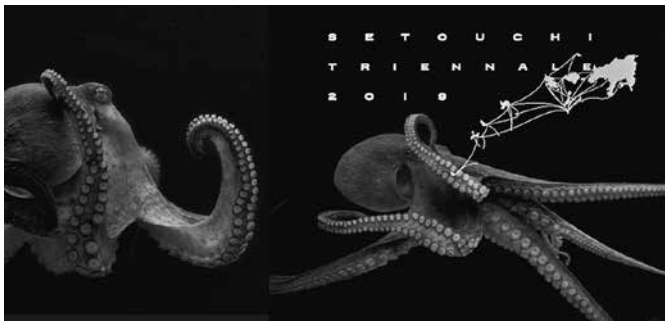


2つめの作品は、山梨県の富士山の麓に佇む「HOTO FUDO」だ。クライアントのほうとう不動は自家製麺を味噌で煮込んだ富士五湖の名物一筋で売ってお店である。依頼を受けた東恋路店とは別にもともと数店舗あった状況だった。既存の店はどこも木造で和風を全面的に押し出した建築だった。しかし保坂さんはそれを見て「和」の捉え方の再考を試みた。これもまた、デザインの本質に迫る考え方だ。クライアントからの希望はもちろん和のテイストだったが、そもそも和とはなんなのか。富士山を背景に持つロケーションから富士山にかかる雲のインスピレーションを受ける。富士山と店舗の建築が一体となってその土地の風景を形作るといったような壮大な建築だ。複数のシェル構造が組み合わさってできた骨組みに、左官たちが手で広げて塗り固めた白い外構。空が青い日の映像からは、富士山にかかる雲が、この土地にふわりと降りてきたようなそんな優しい印象を受けた。「HOTO FUDO」もまた光、さらには自然に着目した建築である。日中はわずかな開口部から差し込む自然光が回るように設計されている。開口部にはガラスをはめ込まないことで風が柔らかく吹き込む。

この続きは、機会があれば執筆したい。

## とくしま支部の建物見学ツアー

徳島支部 岸田 徳明



支部の活動について毎年、7月のバーベキュー大会、まちなみ連としての阿波踊り参加、県外研修旅行など、多岐にわたり行われており、各事業の報告については過去の「まちかど」に掲載されていますので読者のみなさんもお存じとは思いますが。

私自身、まちかどに投稿するのは5年前の全国大会、福島大会以来となりますので、今回の支部自慢の原稿については記載内容も思い浮かばず困惑しておりました。

※書こうと思っていた、先月行われました建物見学ツアーも4月号の田村愛さんが投稿しているではないか・・泣

思い悩んだ末、徳島支部が今年企画しています「建物見学ツアー」瀬戸内国際芸術祭に簡単ではありますが先行掲載したいと思ってます。

※支部総会前ですのであくまで予定ですが・・・

瀬戸内国際芸術祭は香川県高松市を含め瀬戸内の島々を中心とした各地に展示される美術作品、アーティストや劇団・楽団などによるイベント、地元伝統芸能・祭りと連携したイベントであり、2010年より3年毎に開催され、来場者は毎回100万人が来場するビッグイベントです。

※今回は春、夏、秋と季節毎に開催されます。

著名な建築家の作品も含め、私の大好きな横尾忠則氏を初めとする著名アーティストから新進気鋭の若手アーティスト、外国人アーティストまで参加した、島全体を会場と見立て廃校、空家などを利用し島全体を会場として演出しています。

会場間の移動もフェリー、バス、徒歩など時間を費やす移動になりますが、その不便さが逆に心地よく、新たな会場に到着した達成感を与えてくれます。

作品の中には「なんじゃコレ？」と思うような作品も多々ありますので「ガッカリ感あるある」がこの瀬戸芸の醍醐味でしょうか。

フェリーの移動はえげつない程、混んでますので早めに列ぶ事をお勧めします。※初めて行かれる方は要注意！



2013年ツアーでの会場写真

過去に2010年、2013年にツアーを建築士会では企画しました。※私は、2回共参加しました。

2010年には1泊2日、2013年は小豆島を中心とした日帰りツアーでしたが、どちらも良いツアーでした。

個人的な話で一番思い出深い建物が、男木島の男木交流館「男木島の魂」この複雑な屋根を制作したのが、生前お世話になった小松島、勝浦支部の故人、大上稔之さんでした。

この難しい仕事をやり遂げた大上さん尊敬します。



男木島の魂（香川県建築士会HPより）

最後になりましたが、6年ぶりに企画するこの建物見学ツアー、10月くらいの開催を考えています。

泊りにするか、どの島に向かうかは現段階では未定ですが、きっと面白いツアーにはなるとおもいますので、ご興味のある方は是非ご参加ください。

※でも参加人数が少数の場合は中止になる場合もあります。

## 8位

～オムライス～

徳島地域会 神野 力

ラーメン屋さんが毎回同じスープを提供するのは、もはや神業といっても過言ではない。同様に、いつも子供達に美味しい『ごはん』を作ってくれるママには、本当に感謝している。子供達は、そんな『ごはん』を毎日美味しくそうに、楽しそうに食べている。しかし、こういった日常生活のなかで、ふと思うことがある。もし、何らかの理由でママが体を壊したり、ママ友達とつかの間の旅行に出かけたりして、数日家をあけることになったら……。そうになると、必然的に私がママの代わりをすることになる。心配事は、尽きない。普段から家事は手伝うように心掛けていたつもり。掃除・洗濯・ゴミ出し……問題なし。料理を作ることは嫌ではないのだが、自信はないし、はたして美味しいといってくれる『ごはん』を作ることができるのだろうか？それが問題！今の世間の子供達は何が好きなのか、子供の好きなおかずランキングを調べてみることにした。

### 『こどもが好きなおかずランキング』

- 1位 カレーライス (34.8%)
- 2位 お寿司 (32.7%)
- 3位 鶏の唐揚げ (28.7%)
- 4位 ハンバーグ (18.8%)
- 5位 ラーメン (17.4%)
- 6位 焼き肉 (15.5%)
- 7位 フライドポテト (13.6%)
- 8位 オムライス (10.4%)
- 9位 ピザ (9.9%)
- 10位 お刺身 (6.7%)

出典:子供が好きな食べ物ランキング (ぐるなび)



(上) たいめいけん「たんぼぼオムライス」

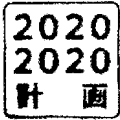
いつの時代も、子供から愛される『ごはん』はあるものの、某回転寿司会社の影響か、私の幼少期に10位の『お刺身』がランクインしていたかどうかは疑わしい。残念ながら、私の好物のコロッケは、ランクインしていない。

私がつくる『ごはん』の中で唯一、子供達が美味しいといってくれる料理がランクインしている。それは、8位の『オムライス』。材料は、いたってシンプル。入れるものは、その時に冷蔵庫に入っているものになるが、玉葱・しいたけ(無い場合は、しめじ)・ベーコン……。その他。バターで具材を炒めて、塩・出汁粉・ケチャップで味付け。ケチャップライスができたなら、あとは玉子で包むだけ。東京日本橋にある、洋食屋『たいめいけん』の『タンポポオムライス』みたいな、ふわトロ風にできる訳もない。できないので、何とか包んでオムライスを形作る。子供達には、「玉子で包むのが難しく、玉子で包むことで美味しさを閉じ込めてあるんだよと、私の都合で納得させる。できたオムライスを温かいうちに食べてほしいので、子供の前に直ぐに出す。それを子供達が嬉しそうに食べてくれる。「美味しい!？」って尋ねるたら、笑顔で『おいしいー』・『ゲーッ!』と親指をたてて答えてくれる。素直に美味しいといってくれると、本当に嬉しくなる。それなのに、いつも作ってくれているママの『ごはん』に、おいしいと言えていない自分が情けない。素直に反省。

次回は、何を作ろうか?何か特別なものをつくれる訳ではないが、子供達が喜んでくれる『ごはん』を、これからも作って行けたらと考えている。



●連載●



「2020・2020への道」

わたしたち徳島県建築士会は、東京オリンピックの年までに会員を2020人にすることを目指し、毎号、阿波まちかどに「2020・2020通信」というニュースレターをはさみ込みんでいます。折り込みチラシと一緒にしているので、間違えて捨ててしまわないようお願いします。

このコーナーでは、会員からの投稿やメッセージ、募集アイデア、新会員の速報や紹介、関連イベント、コラムなどを紹介します。どうぞみなさん、ご注目！そしてご参加ください！

●士会だよりー本部●

総会のお知らせ

とき 令和元年6月1日(土) 15時から17時  
 ところ ザ グランドパレス (徳島市寺島本町西1)  
 ※懇親会は17時30分からです

●行政だよりー徳島県●

建築行政関係職員名簿

都市計画課

主任 上松 祐司

住宅課建築指導室

室長 高島 浩

(指導・宅建担当) 課長補佐 美野 英司

主任 江本 泰英

東部県土整備局

局次長 早澤 英俊

(徳島庁舎) 係長 福田 正志

主任 坂部 政男

同 安川 亘

同 月岡 正晴

(吉野川庁舎) 主査兼係長 美馬本 昭二

主任 富永 聡

南部総合県民局

(阿南庁舎) 課長補佐 新井 基博

主任 川原 賢史

西部総合県民局

(美馬庁舎) 係長 久保 敬徳

(三好庁舎) 課長補佐 矢野 均

●行政だよりー徳島市●

建築行政関係職員名簿

建築指導課長	有本 正博
建築指導課長補佐	長谷部 亮
〃	中西 量宏
指導担当係長	太田 英明
審査担当係長	谷井 恵美
〃	岡部 江利子
開発担当係長	中野 隆弘

※ まちかどでは賛助会員の広告を掲載しております。士会活動にご協力いただいておりますので、業務やプライベートにご利用、ご活用ください。



事業案内

- 建設関係
- 労災保険
- 建設業 退職金共済
- 各種共済
- 税務相談
- 法律相談
- 各種申請 手続き
- 資格取得

全徳島建設労働組合 <http://huresse.jp/>  
 徳島市南矢三町3丁目3-29  
 Tel.088-632-1351(代)  
 Fax.088-631-5473



事業案内  
 無垢フローリング販売  
 屋根・外壁などの外装工事

徳島県徳島市幸町3-45 TEL: 088-625-2151  
<http://www.kasco-jp.com/> FAX: 088-625-2337

※ 次回編集会議は5月23日(木) 16:30から

編集後記

- ・最後まで残った空海の道(藤井寺~焼山寺)をぼちぼち歩いていきます。まだ完遂できていません。(ノーリツ号)
- ・しろありの季節……(ひとはたうさぎ)
- ・原稿の締め切りにご協力を(酎西)
- ・行事がない~(ちりめん)
- ・ご協力ください!(ペペい)

建築士会本部行事案内

令和元年5月		令和元年6月	
8日(水) 住宅相談	(士会会議室)	1日(日) 本部総会	(ザ グランドパレス)
9日(木)~13日(月) 一級建築士試験受付	(士会会議室)	8日(土)~9日(日) 女性の集い島根大会	(島根県)
13日(月) 総務財務委員会 13:00~14:30	(建設センター3F)	11日(水) ①建築士定期講習	(建設センター6F)
理事会 15:00~17:00	(建設センター3F)	12日(木) 住宅相談	(士会会議室)
15日(水) 監査	(士会会議室)	13日(木)~14日(金) 中国四国ブロック総会	(島根県)
15日(水) 住宅相談員会議(セピア)	(士会会議室)	19日(木) 住宅相談員会議(セピア)	(士会会議室)
22日(水) 住宅相談	(士会会議室)	26日(木) 住宅相談	(士会会議室)
		30日(日) 建築士の日イベント	(あわぎんホール)

※ 木造住宅耐震相談は、平日の午前10時から午後4時まで実施しています。

※ 住宅相談は第2・第4水曜日の午後1時・2時・3時(相談時間は1時間以内)に実施しています(要予約)。